

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに (写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

東京都墨田区立第二寺島小学校

活動名：

全要領分解・整理～的確な指導・明確なゴール～

解決すべき課題：

課題は、教員が学習指導要領をよく読み込んでいない現状。学習指導要領をよく読み込み、理解して日々の授業を行わなければならない。小学校学習指導要領のみならず、幼稚園教育要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部・高等部学習指導要領に至るまで、文部科学省が求める内容を、理解し、ゴールを明確にした上で、授業を行うべきである。学校全体で研修会を行い、学習指導要領の理解を深める。

目標・方針：

【目標】学習指導要領を分解・整理し、並び替えることで、より理解が深まり、授業において的確な指導を行うことができる。

【方針】①幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部・高等部学習指導要領をすべて分解する。②分かりやすく並び替え、整理する。③ゴールを明確にし、授業において的確な指導が行えるよう校内研修を行う。

活動内容：

① 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、特別支援学校幼稚部教育要領、小学部・中学部・高等部学習指導要領をすべて分解した。(写真 1、2)

② 分かりやすく並び替え、整理した。(写真 3～10)

③ ゴールを明確にし、授業において的確な指導が行えるよう校内研修を実施した。(写真 11、12)

【並行活動】

・墨田区初任者研修と併せた研究奨励事例として発表。テーマを「統合的・発展的に考える力の育成～小学校算数教育の在り方～」として墨田区内で発表を行った。

活動の成果：

「学習指導要領の内容を理解することはとても大切だと思った。」「系統性の面白さ、大切さをより深く理解することができた。」「小学校の学びを中学校、高等学校につなげるために、どのように展開されるべきか考えるきっかけになった。」「面白く、忠実な動機のある研修会だった。」「楽しく、有意義な結果が生まれた。」「これからも学習指導要領をしっかりと読み込んでいきたいと思った。」(教員感想より)

アピールポイント (アイデアや工夫)：

・全要領 (幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、特別支援学校学習指導要領) を分解し、整理したことで、ゴールが明確になった。

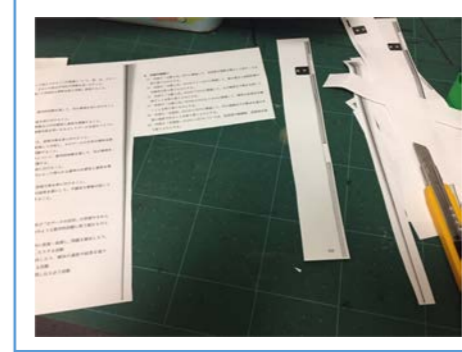
・学校教育の内容を分解し整理し直すことで、「何を」「いつ」「どのように」指導しなければならないかを明らかにすることができた。

・的確な指導をするために、より効率的な教材研究をすることができる。

写真 1



2



3



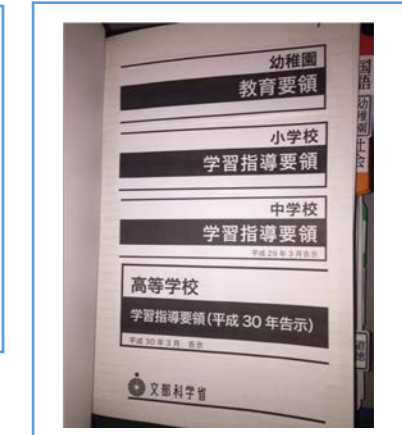
4



5



6



7



8



9



10



11



12

